

2025年2月期 決算説明会



HP www.m-ikkou.co.jp

2025年4月9日
代表取締役社長 南野 利久

I .2025年2月期 決算概要	…2	III.中期経営計画	…16
1-連結業績ハイライト	…3	1-中期経営計画の全体像	…17
2-連結売上高	…4	2-業績目標	…20
3-連結営業利益	…5	3-配当還元方針	…24
II.セグメント別概要	…6	IV.2026年2月期 業績見通し	…25
1 -調剤薬局事業		1-2026年2月期 業績見通し	…26
(1) 調剤薬局事業の業績	…7	V .過去10年間の業績・財務	…27
(2) 調剤薬局事業の概況①	…8	1 -過去10年間の売上高・利益推移	…28
➤ 処方箋枚数（全店ベース）・調剤売上高		2 -過去10年間の現預金・有利子負債推移	…29
(3) 調剤薬局事業の概況②	…9	VI.財務指標等の概況	…30
➤ 店舗展開・店舗マップ		1-連結貸借対照表	
(4) 調剤薬局事業の概況③	…10	(1) 資産の部	…31
➤ 介護施設を中心とする在宅市場への取り組み		(2) 負債・純資産の部	…32
2 -ヘルスケア事業		2-連結キャッシュ・フロー	…33
(1) ヘルスケア事業の業績	…11	3-有利子負債と資産・収益のバランス	…34
(2) ヘルスケア事業の概況①	…12	4-業績および資産・負債等の推移	…35
➤ 施設内訳・施設マップ		5-主な経営指標の推移	…36
3 -医薬品卸事業		VII.配当政策	…37
(1) 医薬品卸事業の業績	…13	1-配当政策	…38
(2) 医薬品卸事業の概況①	…14		
➤ 営業拠点網			
4 -当社グループ全体の拠点網	…15		

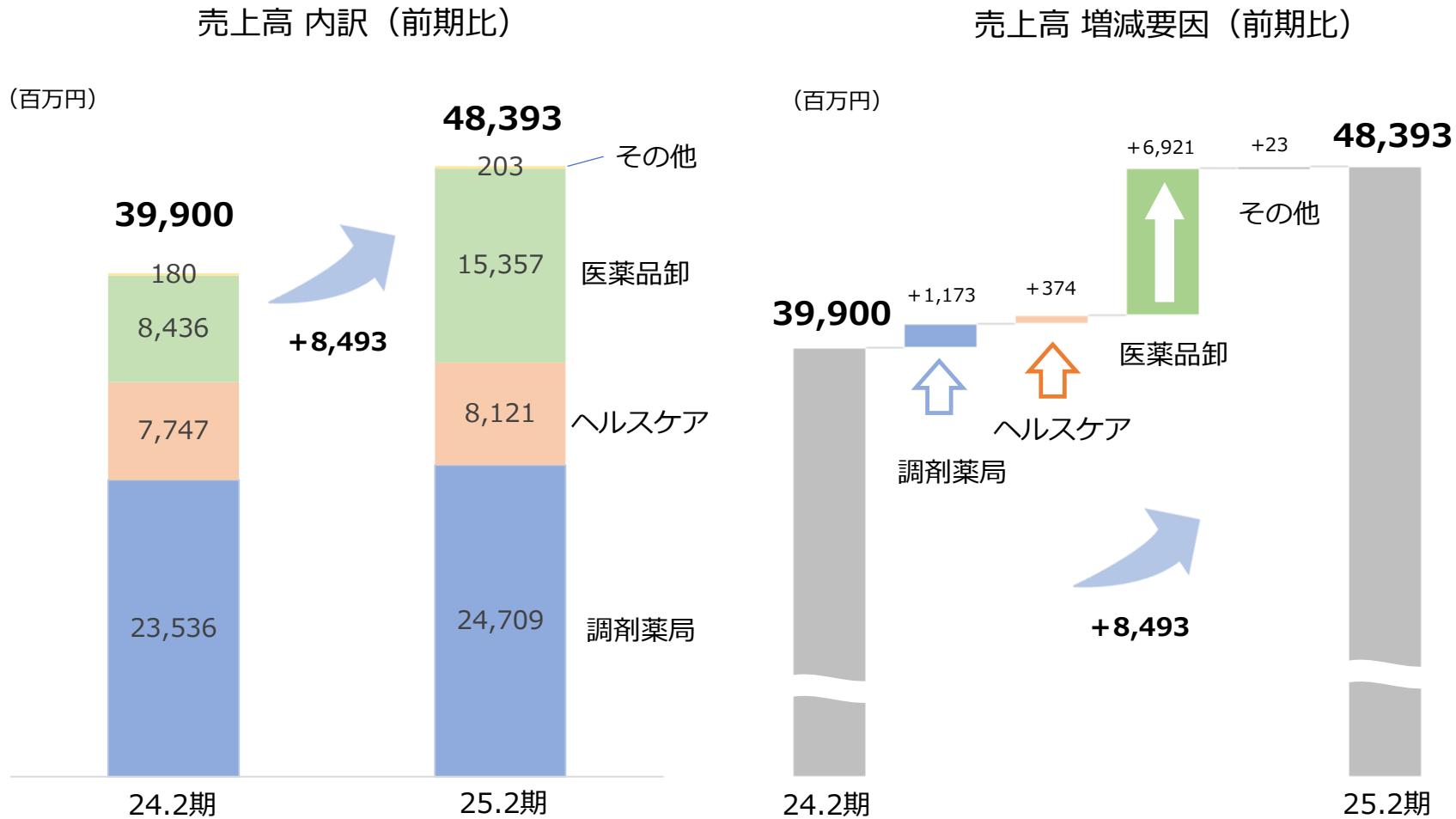
I. 2025年2月期 決算概要

連結業績ハイライト

- ▶ 売上高は48,393百万円、前期比+8,493百万円の増収
- ▶ 営業利益1,692百万円、経常利益1,816百万円といずれも過去最高益達成

(単位：百万円)	23.2期	24.2期	25.2期	25.2期	前々期比		前期比		修正予想比	
	実績	実績	修正業績予想	実績	④ - ①	④ / ①	④ - ②	④ / ②	④ - ③	④ / ③
	①	②	③	④						
売上高	33,897	39,900	48,300	48,393	+14,495	142.8%	+8,493	121.3%	+93	100.2%
売上原価	30,714	35,349	-	42,649	+11,934	138.9%	+7,299	120.7%	-	-
売上総利益	3,182	4,551	-	5,744	+2,561	180.5%	+1,192	126.2%	-	-
(対売上比)	9.4%	11.4%	-	11.9%	-	-	-	-	-	-
販管費	2,247	2,992	-	4,052	+1,804	180.3%	+1,059	135.4%	-	-
営業利益	935	1,559	1,650	1,692	+756	180.9%	+132	108.5%	+42	102.6%
(対売上比)	2.8%	3.9%	3.4%	3.5%	-	-	-	-	-	-
経常利益	1,227	1,751	1,800	1,816	+588	148.0%	+64	103.7%	+16	100.9%
(対売上比)	3.6%	4.4%	3.7%	3.8%	-	-	-	-	-	-
税引前利益	1,313	1,662	-	1,901	+587	144.7%	+238	114.4%	-	-
(対売上比)	3.9%	4.2%	-	3.9%	-	-	-	-	-	-
親会社株主純利益	759	1,039	1,130	1,133	+373	149.2%	+93	109.0%	+3	100.3%

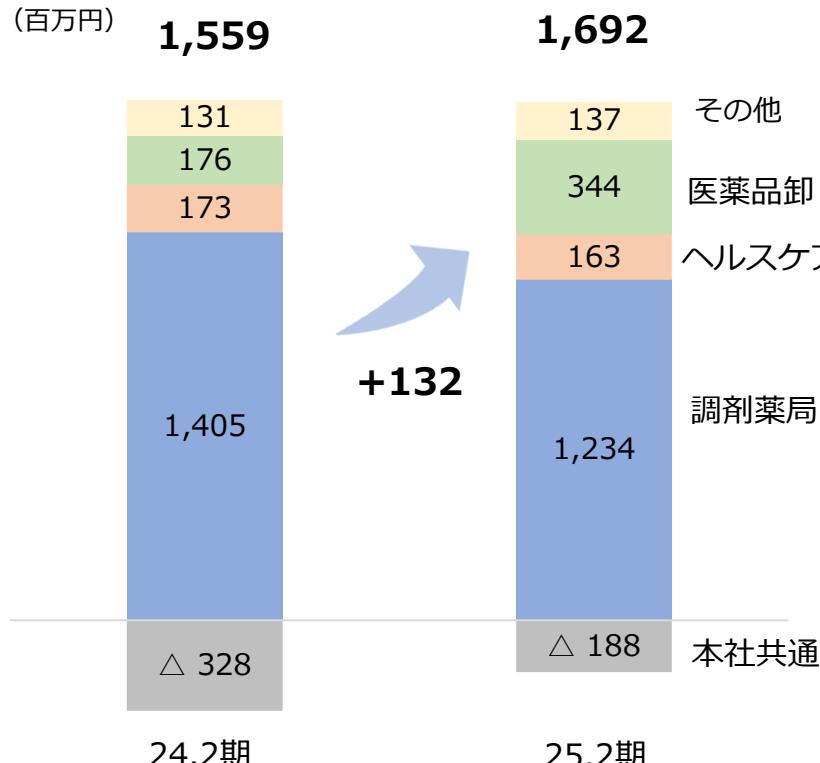
- 調剤薬局、ヘルスケアは微増ながら、医薬品卸の統合効果が連結売上増加に寄与



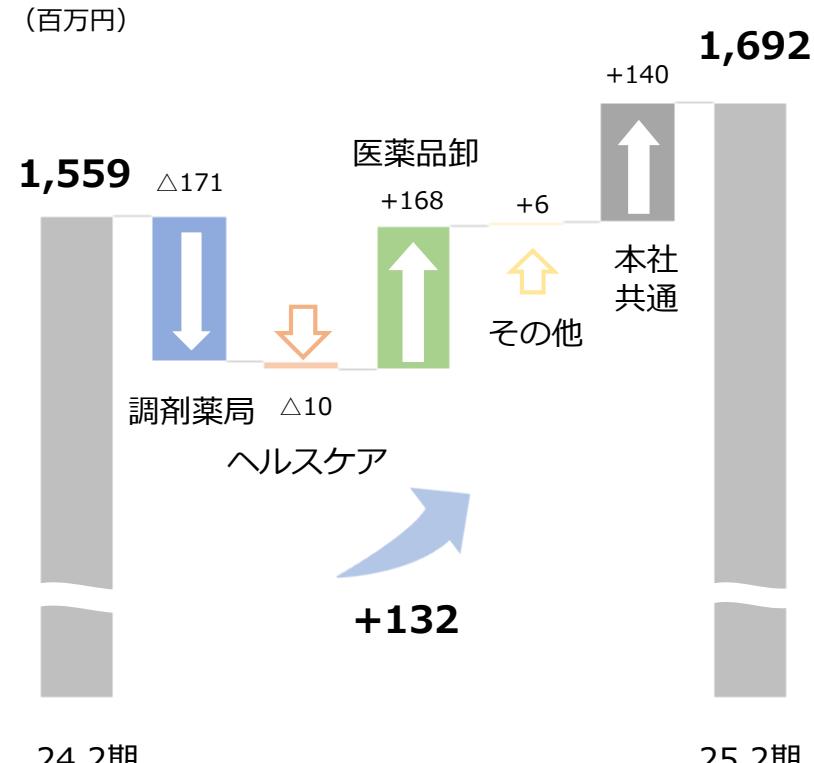
連結営業利益

- ▶ 調剤薬局は減益、ヘルスケアも微減ながら、医薬品卸の収益増が寄与
- ▶ 本社共通経費※の減少効果も全体収益を押し上げ

営業利益 内訳（前期比）



営業利益 増減要因（前期比）



※本社共通：2024年2月期より本社共通経費を区分し表示する方法に変更

II. セグメント別概要

セグメント別業績（調剤薬局事業）

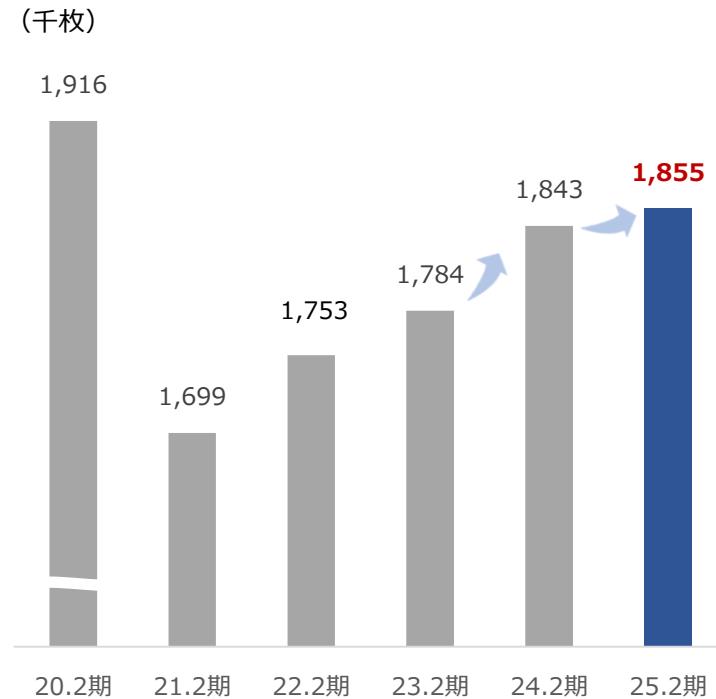
- ▶ 処方箋枚数は微増ながらM&Aによる店舗増加効果から売上高は前期比105%に
- ▶ 収益面では、薬価改定と仕入原価上昇に加え、労務費等の増加から減益に

(単位：千枚、百万円)	24.2期 実績	25.2期 実績	前期比	
	①	②	② - ①	② / ①
処方箋枚数	1,843	1,855	+12	100.7%
売上高	23,536	24,709	+1,173	105.0%
売上原価・販管費	22,078	23,475	+1,397	106.3%
労務費+人件費 (対売上比)	4,075	4,388	+313	101.3%
17.3%	17.8%	—	—	—
営業利益 (対売上比)	1,405	1,234	△ 171	87.8%
6.0%	5.0%	—	—	—
店舗数（期末時点）	94	100	+6	—

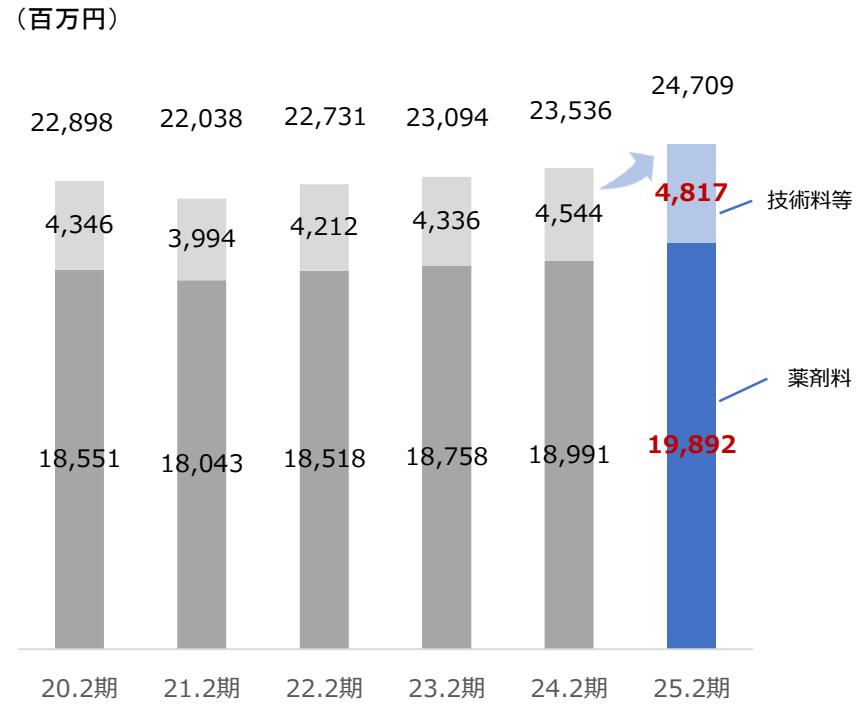
調剤薬局事業の概況①

- 処方箋枚数は既存店の応需枚数減少を店舗増でカバーし前期比微増へ
- 調剤売上高は薬剤料および技術料共に増加し部門売上増収に

■ 処方箋枚数（全店ベース）



■ 調剤売上高（内訳）

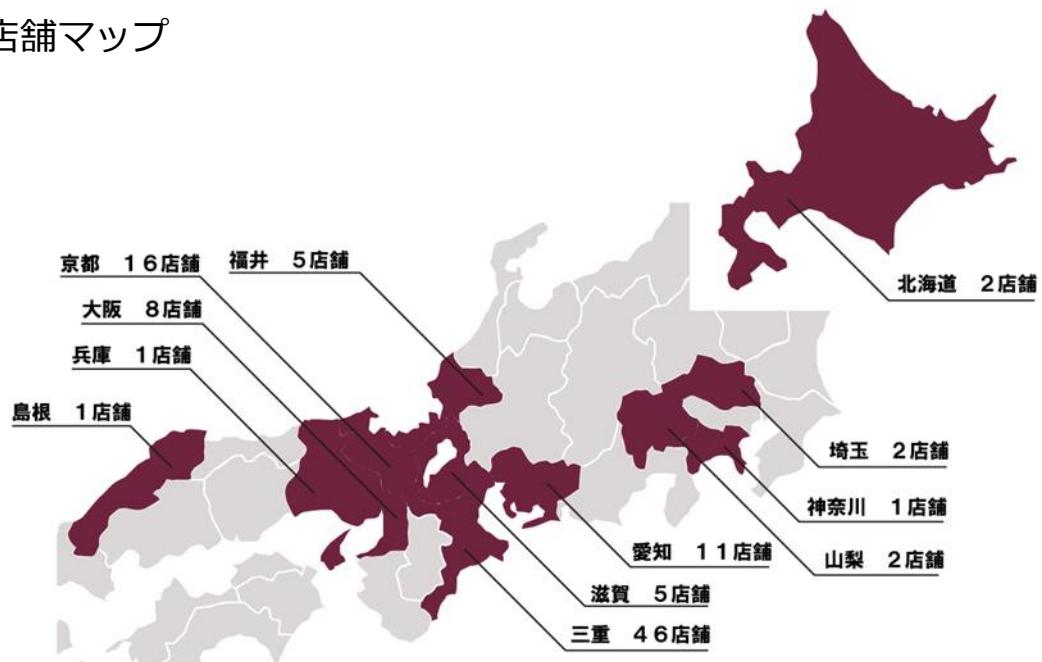


調剤薬局事業の概況②

店舗展開

(単位:店、百万円)	19.2期末	20.2期末	21.2期末	22.2期末	23.2期末	24.2期末	25.2期末	…津駅前
開局店舗数	2	2	1	2	2	2	1	…津駅前
M&A取得店舗数	1	0	0	0	0	0	6	…三宮
閉局店舗数	1	4	1	2	0	3	1	…三宮
期末店舗数	95	93	93	93	95	94	100	…三宮
売上高(調剤薬局事業)	22,452	22,898	22,038	22,731	23,094	23,536	24,709	…三宮
1店舗当たり売上高	236	246	237	244	243	250	247	…三宮

店舗マップ

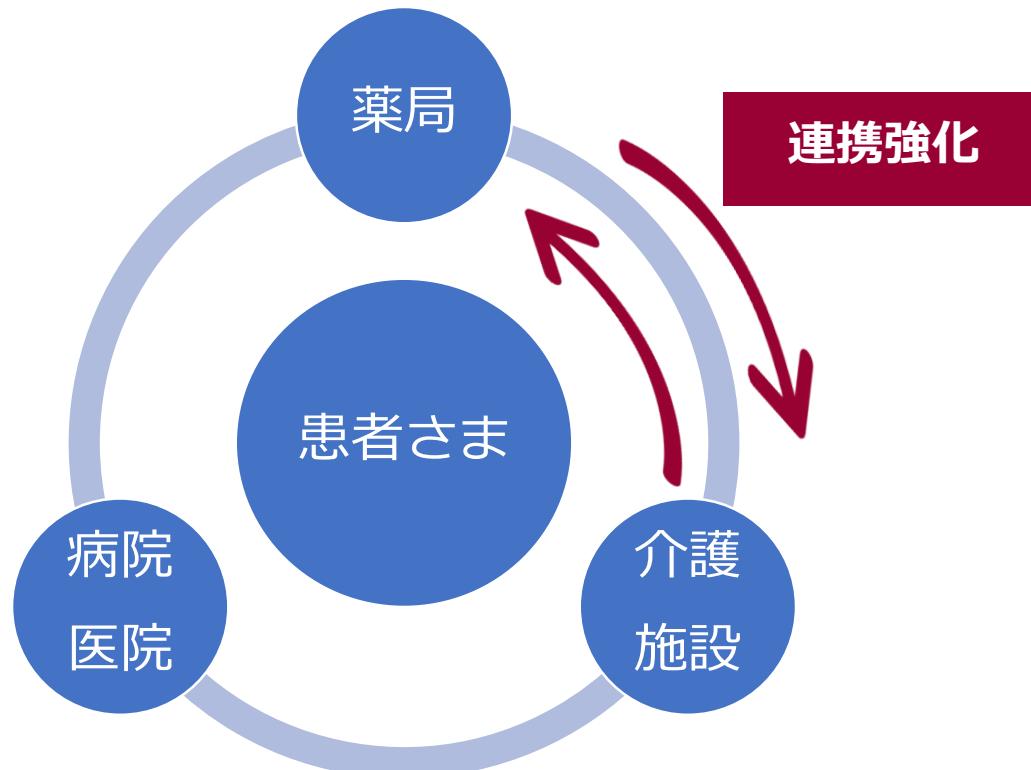


✓ 2024年6月
京寿薬品を子会社化
(京都府, 4店舗)

✓ 2024年10月
三重県薬剤師会
会営薬局 事業譲受け
(三重県, 2店舗)

介護施設を中心とする在宅市場への取り組み

- 2022年2月に介護施設の入居者様を薬剤師が訪問する専門薬局を開局し3年経過
- 既存店舗においても介護施設との連携強化に努め、薬局と介護施設のシナジー発揮



- ▶ 施設の入居率、稼働率は前年同期比概ね横這いながら、施設単価上昇に加え、事業譲受け効果もあり、增收確保
- ▶ 営業利益は労務費を主体とする費用の増加から僅かに減益に

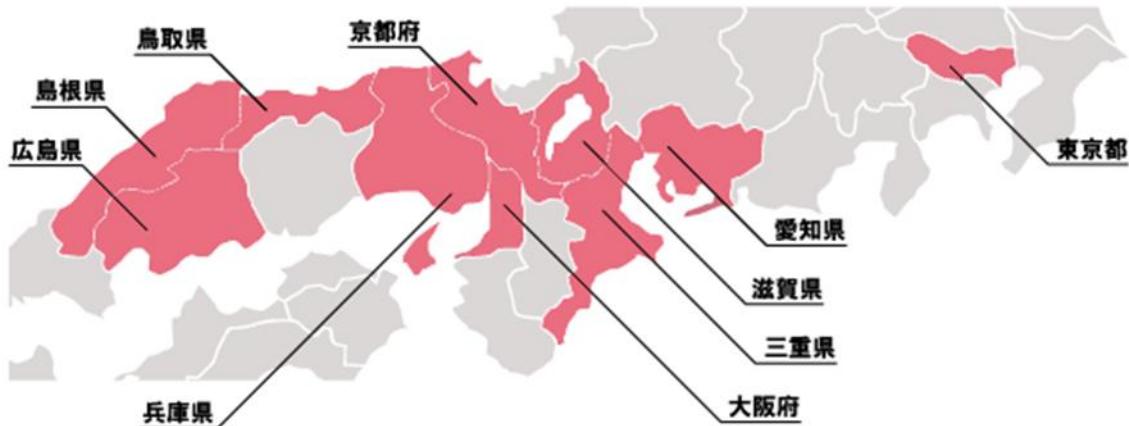
(単位：百万円、室)	24.2期 実績	25.2期 実績	前期比	
	①	②	② - ①	② / ①
売上高	7,747	8,121	+374	104.8%
売上原価・販管費	7,573	7,958	+385	105.1%
労務費+人件費 (対売上比)	4,426	4,653	+227	105.1%
営業利益	173	163	△ 10	94.0%
（対売上比）	2.2%	2.0%	—	—
入居居室数(期末時点)	1,648	1,695	+47	—

ヘルスケア事業の概況①

施設内訳

(2025年2月末現在)	鳥取県	愛知県	三重県	島根県	兵庫県	滋賀県	東京都	京都府	大阪府	広島県	合計	
居住系介護施設	有料老人ホーム	2	14	11	4	0	2	0	0	1	0	34
	グループホーム	2	0	0	1	1	2	1	0	0	1	8
	サービス付高齢者向け住宅	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小規模多機能ホーム	5	14	11	5	1	4	1	0	1	1	43
通所系介護施設	通所介護事業所	6	0	1	3	0	0	1	0	0	0	11
	福祉用具レンタル・販売	6	1	2	3	7	2	4	1	0	0	26
	その他介護事業	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5
	施設 合計	7	9	5	0	5	2	0	0	0	0	28
通所系介護施設	21	11	8	8	12	4	5	1	0	0	0	70
施設 合計	26	25	19	13	13	8	6	1	1	1	113	

施設マップ



- ✓ 2024年7月
メディカルケア光
にて東京都の介護施設
の事業譲受けを実施
- ✓ 東京都での初めての
介護事業案件

セグメント別業績（医薬品卸事業）

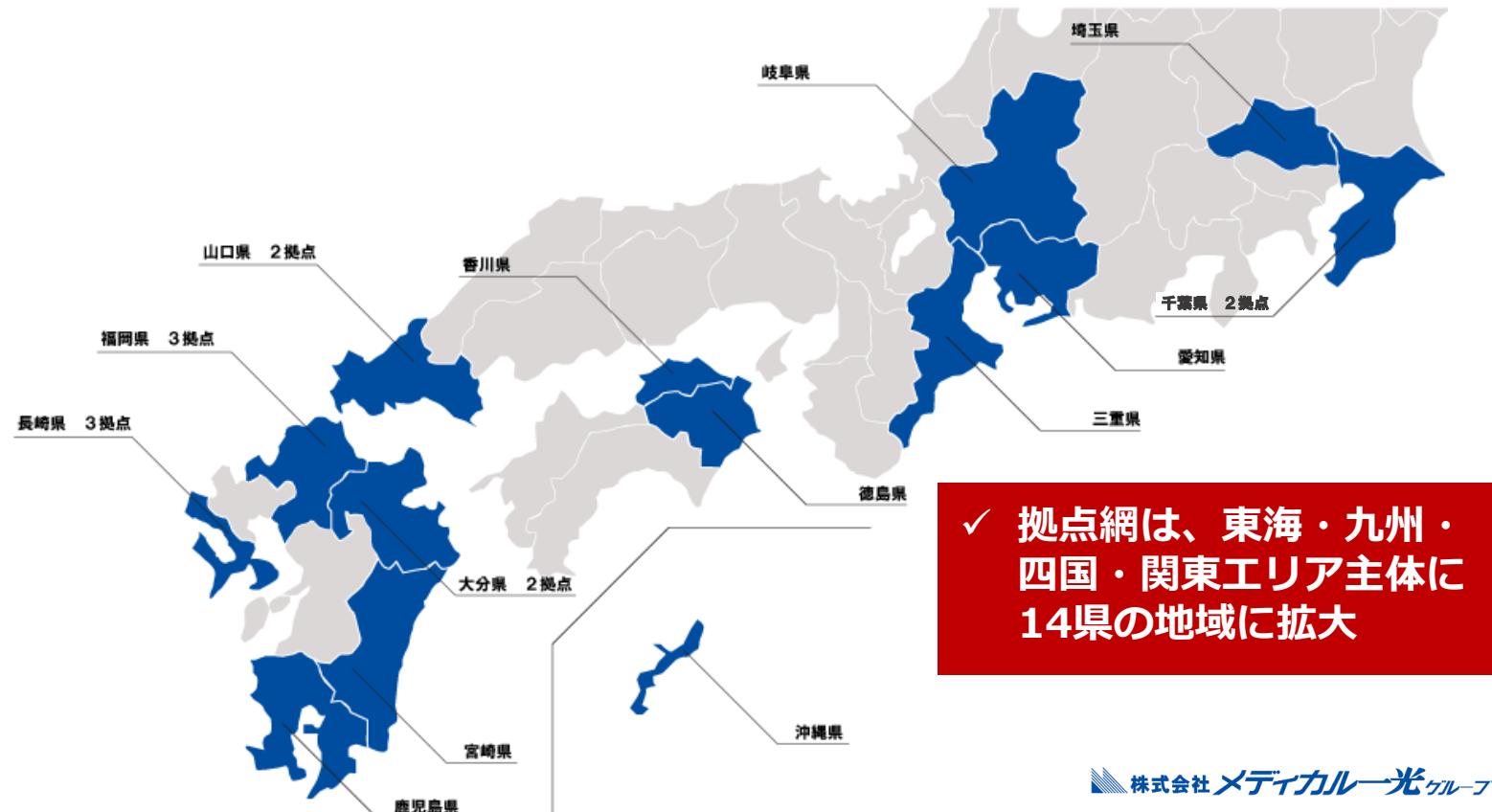


- ▶ 2023年4月以降、急激な仕入原価率の上昇が続き収益性は低下
- ▶ こうした状況下、2023年9月の旧西部沢井薬品との事業統合に続き、2025年2月期も佐藤薬品販売、若松薬品、京葉沢井薬品を子会社化し、規模拡大することで一定の収益を確保

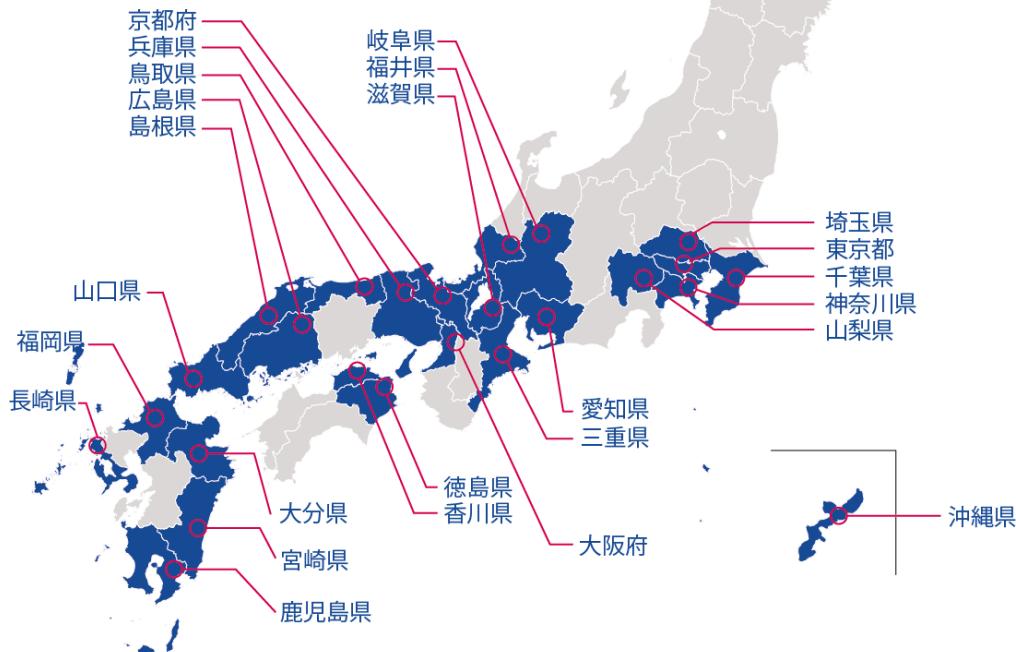
(単位：百万円)	24.2期 実績	25.2期 実績	前期比	
	①	②	② - ①	② / ①
売上高	8,436	15,357	+6,921	182.0%
営業利益	176	344	+168	195.4%
(対売上比)	2.1%	2.3%	-	-
支店・営業所数 (期末時点)	17	21	+4	-

営業拠点網

- ▶ 2024年10月 (株)佐藤薬品販売 (埼玉県)、(株)若松薬品 (香川県) のグループ入りにより、営業エリアは埼玉県・香川県・徳島県にも拡大
- ▶ 2025年1月 京葉沢井薬品(株)のグループ入りにより千葉県の拠点を拡充



✓ 当社グループ全体の
薬局・施設・拠点網は、
『1都1道2府22県』
の地域に拡大



III. 中期経営計画

『Re-Start 1,2,3計画』 (ワン・ツー・スリー)

	基本理念 良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する
基本方針	中期経営 計画の 位置付け 【Re-Start】 設立40年を経て、41年目より成長を加速 【1,2,3計画】 41,42,43期×主力3事業の規模拡大
	業績目標 2028年2月期 売上高600億円、営業利益25億円
	株主還元 株主還元の一層の充実～配当性向方針変更(35%以上へ)

Re-Start (再始動)

売上高
1,000億円
(ワン、ツー、スリー)

ヘルスケア
100億円

医薬品卸
200億円

調剤薬局
300億円

3年間の1,2,3 (ワン,ツー,スリー)

第41期
(2026.2期)

第42期
(2027.2期)

第43期
(2028.2期)

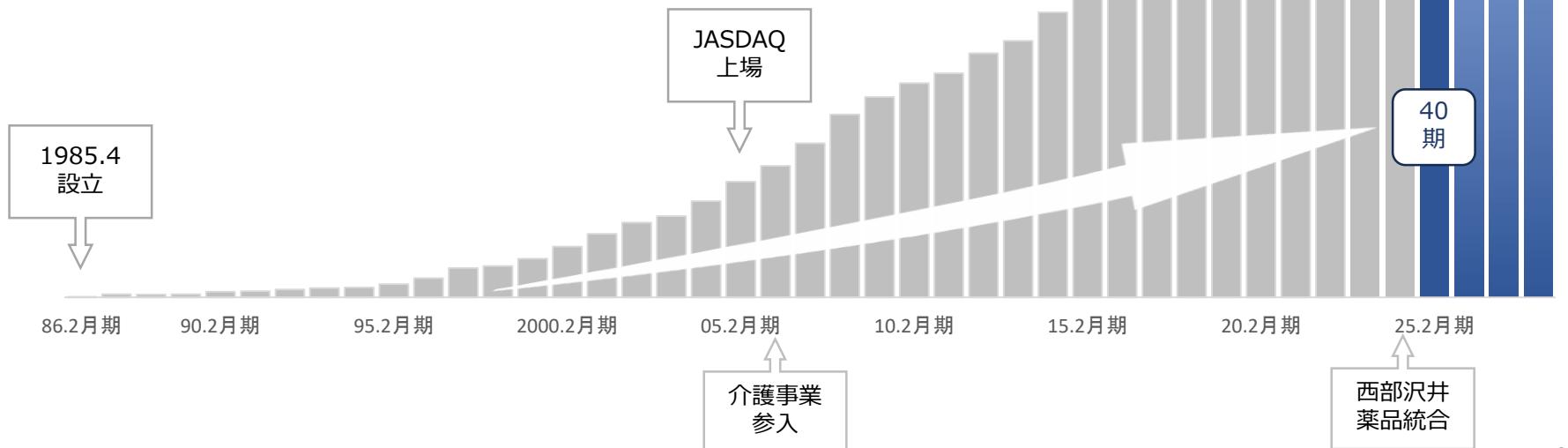
(2025.2期) (2028.2期)
売上高 **81億円→100億円へ**

売上高 **154億円→200億円へ**

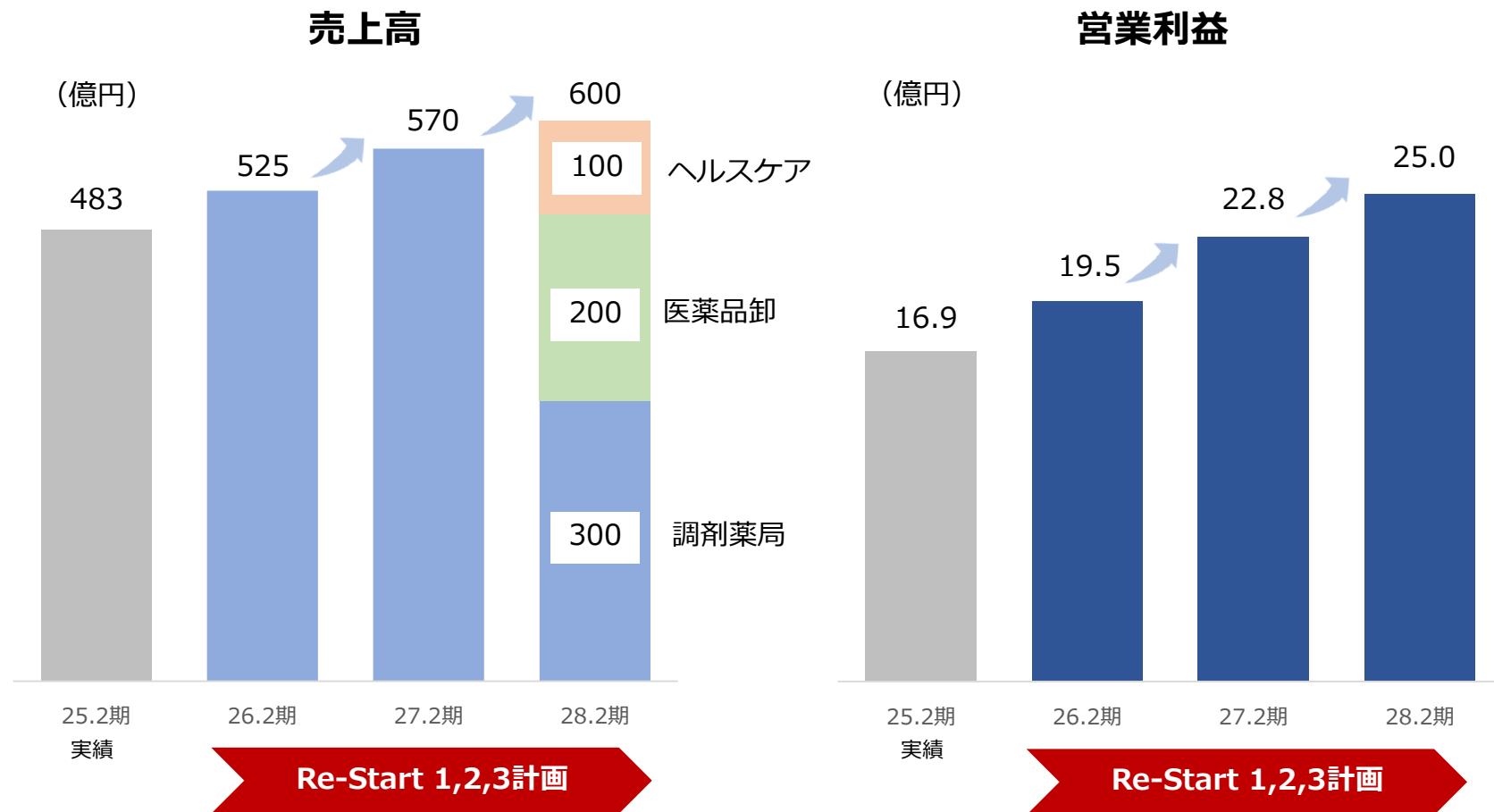
売上高 **247億円→300億円へ**

Re-Start 1,2,3計画 (ワン,ツー,スリー)

- ✓ 設立以来、売上高は40期迄ほぼ一貫して増収
- ✓ 41～43期の3年間で成長をRe-Start（再始動）
- ✓ 調剤薬局300億円、医薬品卸事業200億円
ヘルスケア事業100億円の売上を目指す



目標 2028年2月期迄に売上高600億円、営業利益25億円を目指す



目標計数

(億円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 純利益	配当性向 (%)
24.2期実績	399	15.5	17.5	10.3	16.3
25.2期実績	483	16.9	18.1	11.3	19.9
Re- Start 1,2,3 計画	26.2期計画	525	19.5	19.0	12.5
	27.2期計画	570	22.8	---	---
	28.2期計画	600	25.0	---	---

※配当性向は記念配当を除いて算出

施策

1 主力3事業における積極的なM&Aによるトップラインの引き上げ

2 統合効果を早期発現し、業務効率化の促進と原価・販管費を低減

3 調剤薬局の新規店舗および介護施設の開設

4 主力3事業のシナジーを活かしたビジネスモデルの拡充

M&Aの直近実績

【調剤薬局事業】



- 2024年 6月 (株)京寿薬品 子会社化
- 2024年10月 三重県薬剤師会 会営薬局2店舗 事業譲受け

【医薬品卸事業】



- 2023年 9月 西部沢井薬品(株)の医薬品卸事業譲受け
- 2024年10月 (株)佐藤薬品販売 子会社化
- 2024年10月 (株)若松薬品 子会社化
- 2025年 1月 京葉沢井薬品(株) 子会社化

【ヘルスケア事業】



- 2024年7月 共創未来メディカルケア(株)の介護事業譲受け

方針

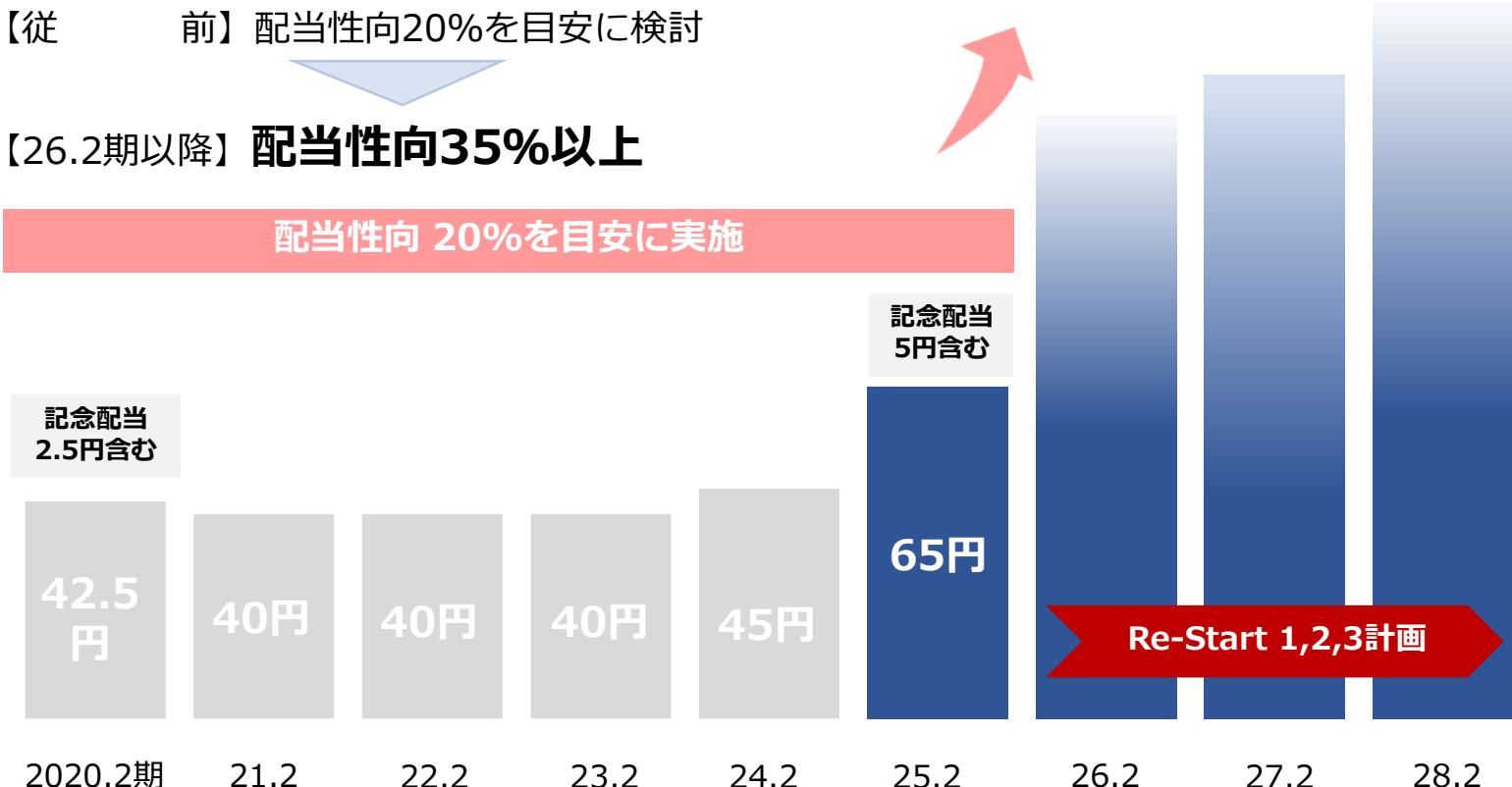
- ▶ 株主還元の一層の充実を企図し、配当方針を変更

配当性向 35%以上

【従前】配当性向20%を目安に検討

【26.2期以降】配当性向35%以上

配当性向 20%を目安に実施



(注) 2021年3月に株式分割を実施しており、上記配当金は2020年3月から分割を実施していたものとして試算

IV. 2026年2月期 業績見通し

2026年2月期 通期業績見通し



- 2026年2月期は『Re-Start 1,2,3 (ワン・ツー・スリー) 計画』初年度として、
- 売上高52,500百万円、営業利益1,950百万円を計画
- 経常利益は1,900百万円、親会社株主純利益は1,250百万円を計画

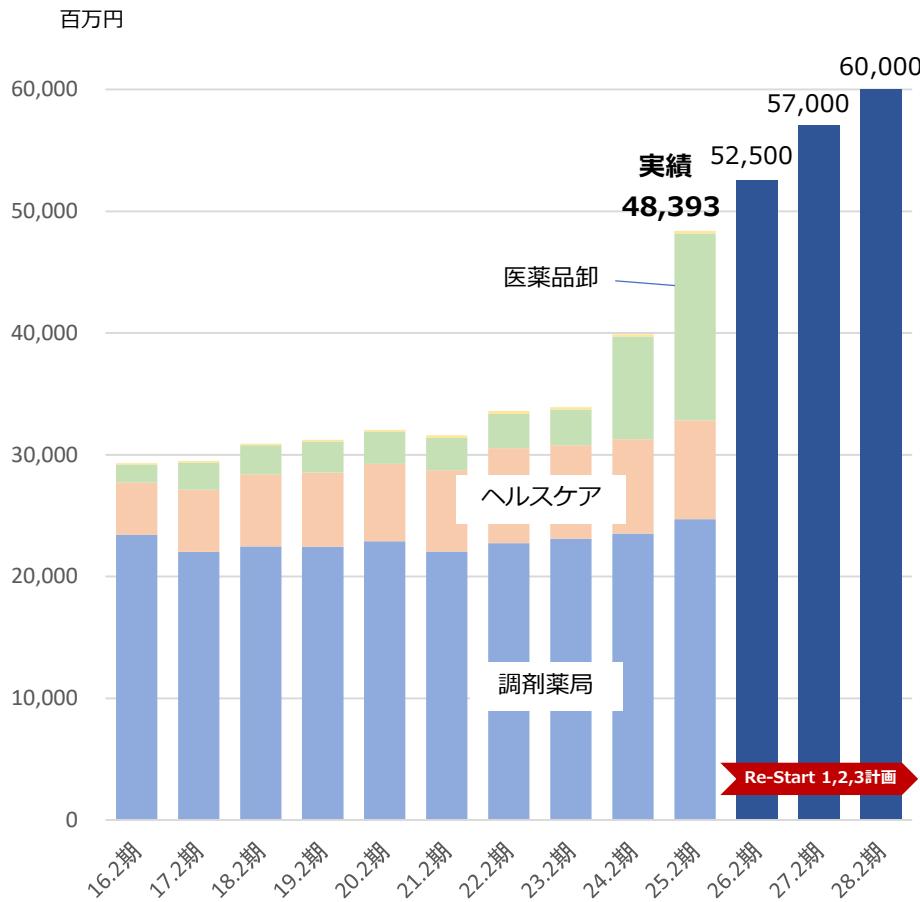
(単位：百万円)	23.2期 実績	24.2期 実績	25.2期 実績	26.2期 計画	25.2-26.2期 増減	25.2-26.2期 比率
	①	②	②-①	②/①		
売上高	33,897	39,900	48,393	52,500	+4,107	108.5%
営業利益 (対売上比)	935 2.8%	1,559 3.9%	1,692 3.5%	1,950 3.7%	+258	115.2%
経常利益 (対売上比)	1,227 3.6%	1,751 4.4%	1,816 3.8%	1,900 3.6%	+84	104.6%
税引前利益 (対売上比)	1,313 3.9%	1,662 4.2%	1,901 3.9%	1,950 3.7%	+49	102.5%
親会社株主純利益	759	1,039	1,133	1,250	+117	110.3%

V. 過去10年間の業績・財務

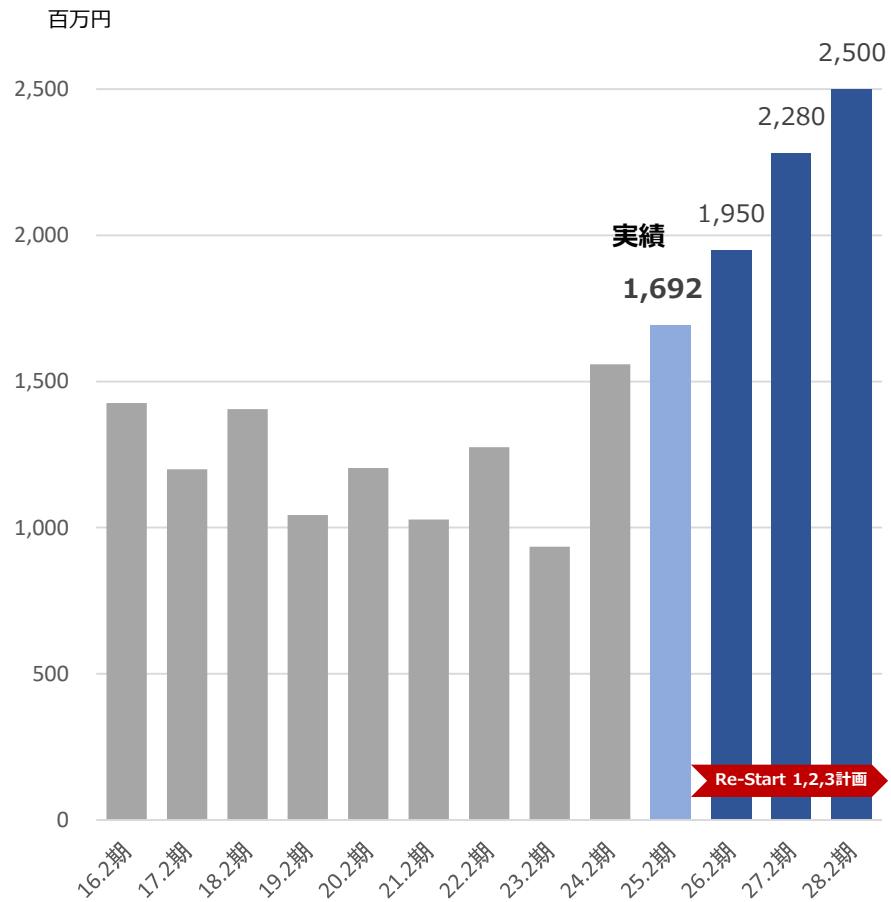
過去10年間の売上高・利益推移



連結売上高推移

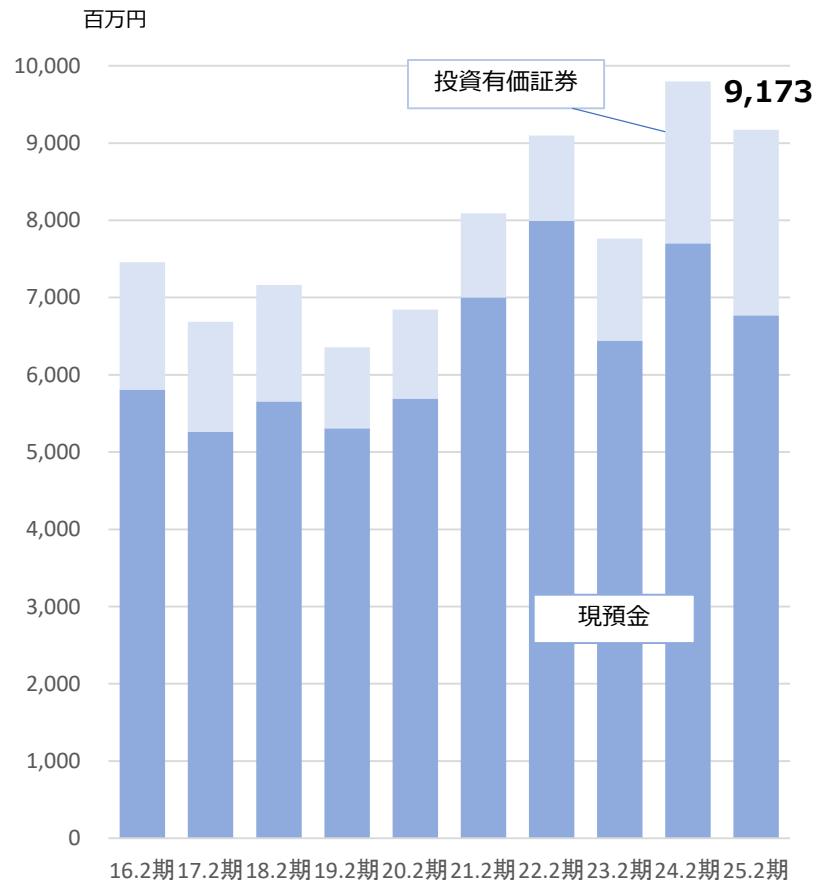


連結営業利益推移

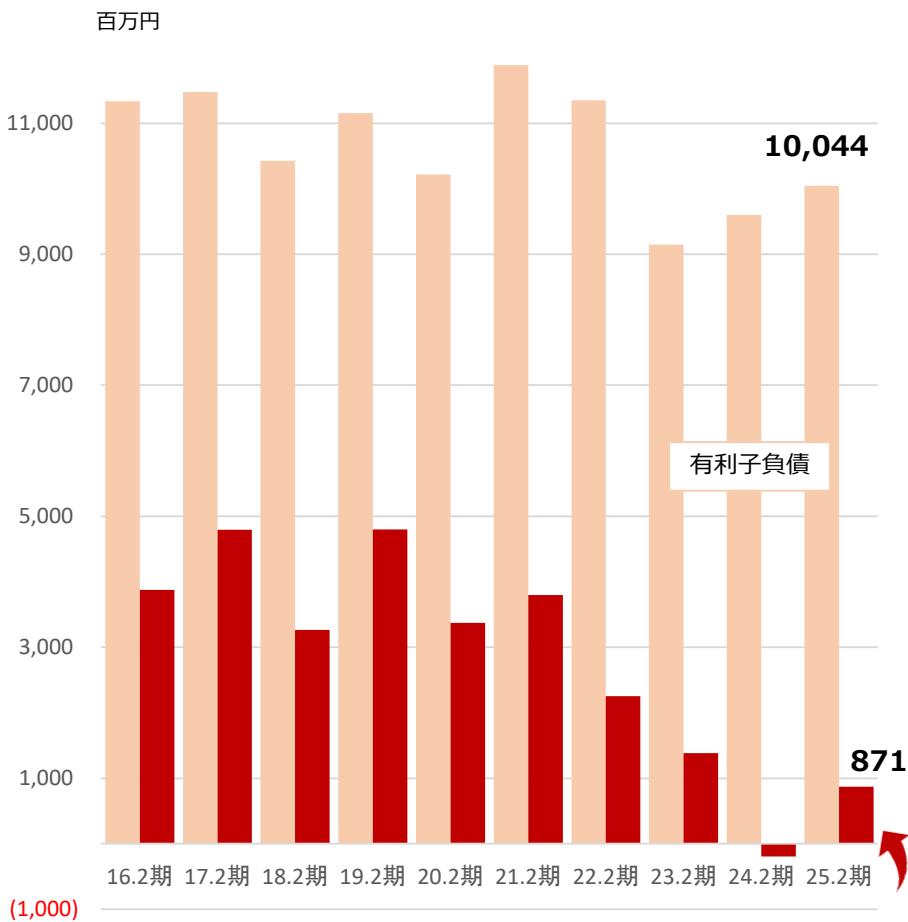


過去10年間の現預金・有利子負債推移

現預金・投資有価証券推移



ネット有利子負債推移



※ネット有利子負債（現預金・投資有価証券控除後）

VI. 財務指標等の概況

連結貸借対照表（資産の部）

(単位：百万円)	23.2期	24.2期	25.2期	前期末 増減	
流動資産					
現預金	13,239	16,722	17,965	+1,242	①現預金
売掛金	6,443	7,700	6,768	① △ 931	・投資活動によるCFおよび財務活動によるCFの減少が影響
商品	5,009	6,049	7,478	② +1,430	
	1,228	1,752	2,215	+462	
有形固定資産					③売掛金
建物・構築物	9,587	9,116	10,042	③ +925	・M&Aによる新規子会社化
土地	5,506	5,142	5,989	+846	5社および調剤薬局、ヘルスケアの事業譲受けの影響が主因
	3,762	3,576	3,588	+11	
無形固定資産					④有形固定資産
のれん	1,478	860	989	+128	・介護施設新設に伴う増加
	1,296	692	816	④ +122	
投資その他の資産				+276	⑤のれん
投資有価証券	3,199	4,959	5,235	⑤ +309	・新規子会社化に伴い増加
敷金及び保証金	1,320	2,097	2,405	△ 54	
	1,047	1,222	1,167	+1,330	⑥投資有価証券
固定資産				+2,571	・純投資の投資有価証券が増加
資産合計	27,505	31,659	34,231		

連結貸借対照表（負債・純資産の部）



(単位：百万円)	23.2期	24.2期	25.2期	前期末 増減	
流動負債	7,454	10,404	11,668	+1,263	①買掛金
買掛金	3,393	4,772	5,440	① +668	・M&Aによる新規子会社化 5社および調剤薬局、ヘルスケアの事業譲受けの 影響が主因
短期借入金等	2,864	3,694	3,789	+93	
リース債務	31	24	27	+2	
固定負債	7,443	7,414	7,850	② +436	②長短借入金
長期借入金	6,062	5,717	6,052	+333	・M&A等の投資案件に対し 手元現預金を活用したこ とから、借入金は増加に
リース債務	189	166	175	+7	
株主資本	12,016	12,908	13,862	③ +954	③株主資本
非支配株主持分	558	600	614	+14	・利益剰余金の積み上げに より増加
純資産	12,607	13,841	14,712	+871	
負債・純資産	27,505	31,659	34,231	+2,571	

連結キャッシュ・フロー



(単位：百万円)	23.2期	24.2期	25.2期	前期 増減額
営業キャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	1,307	4,277	1 1,198	△ 3,078
減価償却費	1,313	1,662	1,901	+237
のれん償却額	632	612	624	+13
有価証券売却損益（▲は益）	209	171	138	△ 33
売上債権増減額（▲は増加）	△ 35	△ 123	△ 117	+7
仕入債務増減額（▲は減少）	△ 118	928	△ 401	△ 1,329
投資キャッシュ・フロー	△ 42	1,747	△ 343	△ 2,090
投資有価証券売却による収入	△ 477	△ 3,218	2 △ 1,134	+2,084
投資有価証券取得による支出	306	578	571	△ 8
有形固定資産取得による支出	△ 407	△ 772	△ 848	△ 75
事業譲受による支出	△ 312	△ 303	△ 997	△ 694
長期前払費用の取得による支出	0	△ 2,297	△ 112	+2,184
財務キャッシュ・フロー	△ 14	△ 625	△ 8	+617
短期借入金の増減額	△ 2,366	277	3 △ 1,027	△ 1,305
長期借入金による収入	0	1,150	△ 397	△ 1,547
長期借入金の返済による支出	1,450	2,150	2,400	+250
現金及び現金同等物増減額	△ 3,627	△ 2,840	△ 2,815	+24
現金及び現金同等物の期末残高	△ 1,536	1,336	4 △ 964	△ 2,300
	6,253	7,589	6,639	△ 949

※各キャッシュ・フローの内訳は主要項目のみ記載

①営業キャッシュ・フロー： +1,198百万円

- 当期純利益の増加を主因に営業CFは増加

②投資キャッシュ・フロー： △1,134百万円

- 有価証券純投資と介護施設新設に対する支出、M&A等により投資CFは減少

③財務キャッシュ・フロー： △1,027百万円

- 投資が続く中でも長短借入金の増加を抑制し、返済を進めたことから財務CFは減少

④現金及び現金同等物増減額 △964百万円

- 営業CFの増加以上に、投資CF、財務CFが減少し、手元現預金は減少に

有利子負債と資産・収益のバランス



ネット有利子負債と資産のバランス

(単位：百万円)	有利子負債	現預金	ネット 有利子負債	投資 有価証券	ネット 有利子負債 (投資有価証券除き)
	①	②	③ = ① - ②	④	③ - ④
メディカルー光	2,888	4,585	△ 1,696	259	△ 1,955
ハピネライフー光	5,720	1,765	3,955	1	3,954
ヘルスケア・キャピタル	1,436	418	1,017	2,144	△ 1,127
グループ全体	10,044	6,768	3,276	2,405	871

※2025年2月末時点



ネット有利子負債は
EBITDAの範囲内

ネット有利子負債と収益力のバランス

(単位：百万円)	EBITDA			
	営業利益	減価償却費	のれん償却額	
⑤	⑥	⑦	⑤+⑥+⑦	
グループ全体	1,692	624	138	2,455

※EBITDAは2025年2月期

業績および資産・負債等の推移

- ▶ 売上高、営業利益、経常利益に加え、EBITDA、純資産額も、過去最高に

(単位：百万円)	20.2期	21.2期	22.2期	23.2期	24.2期	25.2期	前期末 増減
売上高	32,042	31,603	33,595	33,897	39,900	48,393	+8,492
営業利益 ①	1,204	1,028	1,275	935	1,559	1,692	+132
経常利益	1,225	1,201	1,357	1,227	1,751	1,816	+64
税引前利益	1,272	1,441	1,476	1,313	1,662	1,901	+238
親会社株主純利益	801	834	852	759	1,039	1,133	+93
減価償却費 ②	634	629	628	632	612	624	+12
のれん償却額 ③	191	208	242	209	171	138	△ 32
EBITDA ①+②+③	2,030	1,865	2,146	1,776	2,343	2,455	+112
現預金 ④	5,694	7,003	7,992	6,443	7,700	6,768	△ 931
有利子負債 ⑤	10,217	11,890	11,350	9,149	9,603	10,044	+441
ネット有利子負債 ⑤-④	4,522	4,887	3,358	2,706	1,902	3,276	+1,373
投資額	517	1,185	558	596	3,413	1,047	△ 2,365
純資産額	10,170	10,484	11,927	12,607	13,841	14,712	+870
総資産額	26,193	28,554	29,094	27,505	31,659	34,231	+2,572

主な経営指標の推移

- 自己資本比率は41.2%と引き続き40%以上の水準を維持
- ROEは8.3%と前期比0.1%改善

		20.2期	21.2期	22.2期	23.2期	24.2期	25.2期	前期末 増減
売上高経常利益率	%	3.8	3.8	4.0	3.6	4.4	3.8	△ 0.6
売上高税引前利益率	%	4.0	4.6	4.4	3.9	4.2	3.9	△ 0.3
自己資本比率	%	38.8	36.7	39.1	43.8	41.8	41.2	△ 0.6
EBITDA有利子負債倍率	倍	2.2	2.6	1.6	1.5	0.8	1.3	+0.5
総資産利益率 (ROA)	%	3.1	3.1	3.0	2.7	3.5	3.4	△ 0.1
自己資本利益率 (ROE)	%	8.1	8.1	7.8	6.5	8.2	8.3	+0.1
投下資本利益率 (ROIC)	%	3.6	2.0	2.9	1.8	4.3	3.9	△ 0.4
株価収益率 (PER)	倍	20.6	13.6	11.2	12.8	8.4	7.3	△ 1.1
株価純資産倍率 (PBR)	倍	1.6	1.1	0.8	0.8	0.7	0.6	△ 0.1
1株当たり当期純利益 (EPS)	円	210.36	221.31	226.92	202.20	276.70	301.35	+24.65
1株当たり純資産 (BPS)	円	2,667.87	2,791.36	3,030.61	3,207.14	3,523.25	3,747.70	+224.45

※当社は2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は、

20.2期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

VII. 配当政策

- 26.2期の普通株式1株当たり配当金は、120円（中間60円、期末60円）を予定
配当性向は35%以上とする方針

		23.2期 実績	24.2期 実績	25.2期 実績	26.2期 計画	25.2期比 増減
親会社株主純利益	百万円	759	1,039	1,133	1,250	+117
1株当たり当期純利益	円	202.20	276.70	301.35	332.29	+30.94
1株当たり配当金	円	40	45	65	120	+55
期末（普通配当）	円	20	25	35	60	+25
期末（記念配当）	円	—	—	5	—	△5
中間（普通配当）	円	20	20	25	60	+35
配当性向（普通配当）	%	19.8	16.3	19.9	36.1	+16.2
株価（期末）	円	2,589	2,335	2,200	-	—

成長し続ける。
それが
使命です。



地方から全国へ。調剤薬局・介護事業・医薬品卸

詳しくは
こちら▶



株式会社 メディカル一光 グループ

メディカル一光 

本資料には、当社または当社グループの業績、財務状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

お問い合わせ

〒514-0035
三重県津市西丸之内36番25号

TEL : 059-226-1193 (代表)
E-MAIL : ir@m-ikkou.co.jp
担当 : IR関連 財務・IR部
株式関連 管理部